

発言通告表（一般質問）

令和4年2月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	望月 徹（3）	<p>1. コロナ禍による生活保護世帯増への緊急対応とその就業支援など今後の対策について</p> <p>2年に及ぶコロナ禍において、幾つかの政策が実施されましたが、生活の窮状を訴える人は多く、生活保護世帯は増加の一途をたどっています。令和2年3月末の生活保護世帯1412世帯に対し、令和4年1月末は1599世帯と1年10か月で13.5%と大幅に増え、今も増え続けております。生活困窮者への迅速な対応が緊急・喫緊の課題となっています。生活保護世帯は大きく5つの世帯類型に区分されていますが、自然増とも言える高齢者世帯だけでなく、どの分野も増加傾向にあります。</p> <p>生活困窮者を緊急に保護していくことは、本市の福祉の基本であり、重要な政策であります。この視点に立ち、生活困窮者に寄り添い、生活保護を必要とする方が、速やかに受給できる支援体制となっているか、そして、生活保護受給者に対する就労支援事業など今後の対策について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 現状の生活保護の支援体制の実態についてお伺いします。</p> <p>(2) 就労世帯は年度ごとに上下していますが、ユニバーサル就労相談などを活用した生活保護世帯への就労支援の実態と具体的な取組についてお聞かせください。</p> <p>(3) 不正受給の実態と防止の取組についてお聞かせください。</p>	市長 及び 担当部長